

# 平和な世界づくりに貢献するため、教育にさらなる力を

◎国際ロータリー第2590地区 ガバナー 金子 大

2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」となっております。世界で最も支援が必要とされる人道的ニーズは何かを考え、長期的な変化をもたらすための6つの重点分野の一つです。

毎年世界各地で、紛争と暴力によって数千万人が家を失い、故郷を追われています。紛争で命を落とした犠牲者の90%が罪のない一般市民であり、その半分以上が子供ということです。平和と紛争予防のために、直接私たちが紛争地に赴いても役には立たず、かえって二次的被害・三次的被害に遭遇し、問題を大きくすることも考えられます。

しかし、このような現状を鑑み、国際ロータリーとロータリー財団は「平和フェロシッププログラム」を推進して紛争予防と紛争解決のエキスパートを養成し、世界へ派遣して平和な世界づくりを促進しています。そのため奨学金制度が、ロータリー平和センタープログラムであり2002年からスタートいたしました。

### §

ロータリーは毎年、世界中の候補者の中から世界6か国、7大学に設置された6ロータリーセンターで学ぶフェローを最高100名選出します。フェロシップには次の2種類があります。

「修士号取得プログラム」は、平和と紛争解決・予防の分野の修士号取得を目指す人のためのフェロシップで、毎年50名まで（1センターにつき10名まで）に授与されます。

「専門修了証プログラム」は、この分野における今日のリーダーを強化する3か月の短期集中コースで、専門能力開発修了証が与えられます。いずれのプログラムも既に平和・紛争解決の分野でのフルタイムの職歴があることが、申請の条件です。

このようなシステムによって、ロータリー財団はロータリアンが平和と紛争予防／紛争解決ののための研修と教育の実践を目指す若者に奨学金支援を行っているのです。

### §

設置から10年を超え、ロータリー平和センターは、平和構築の分野のキャリアを志す人材を輩出してきま



した。その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根NGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍されています。

平和フェローは既に1000名を超えており、当第2590地区からは3名誕生し、各分野で活躍してきました。これからもその3名に続く人材を輩出できるかどうかは、我々の取り組み次第であることは論を待ちません。平和フェロシッププログラムを一人でも多くの若者に利用してもらうことを目指し、将来を予見させる人材を発掘する努力を続けていく必要があります。

### §

平和フェローの存在は、これからの世界を変革する可能性を秘めています。その基底を形づくるものはこういった「教育」です。奨学金支援は、見かけは地道かもしれませんが、その積み重ねがやがて大きな成果を生むと信じています。

教育への取り組みによって、世界の平和に少しでも貢献できるのなら、ロータリアンとしてこれほどの幸福はないでしょう。今月のテーマを一人ひとりの課題として改めて受けとめることが、平和への第一歩となると考えています。